
今日 の 力

2025年11月24日 ～ 11月30日

翻訳 松浦 言

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています
※翻訳・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御茶の水キリストの教会

11月24日（月）

大 切 な こ と

聖書朗読 ローマ人への手紙 12：9～21

心を尽くして主に拠り頼め。自分の悟りにたよるな。あなたの行く所どこにおいても、
主を認めよ。そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。 箴言 3：5～6

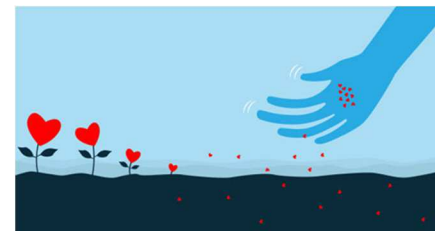
数年前、私はある名の知れた企業の株を1株購入しました。配当金も投資にまわして、
何年も辛抱強く待った今、なんと4株ほどになりました。総額はというと、配当金でいく
らかプラスになるぐらいです。あまり成功したとは言えませぬね。敗因は、大きな利益を
出せるほど最初に投資をしなかったことにありそうです。

人生の中で同じような失敗をすることが多くあります。仕事や他の責務や娯楽にかまけ
て、本当に大切にしなければいけない、信仰や大切な人との関係、他者への思いやりなど
に、最低限のものしか投資しないのです。私たちは、いつかそのような大切なものに時間
を使えるタイミングが来るだろうと考えてしまいますが、そんなタイミングが来ることは
ありません。

このディボーションを読まれているあなたはすでに本当に大切なものに投資をするとい
う選択をされていると思います。神様のみことば、愛、そして他者への親切心は、単に成
長するものではなく、倍増していくものなのです。株式とは違い、本当に大切なものへの
投資には永遠の配当があります。

聖 歌 201 キリスト・イエスをもといとして

祈 り あなたの圧倒的な愛と恵みを感謝します。私たちが真に大切にすべきもの、あ
なたとの関係、周りの人への愛、私たちが人々と分かち合うようにと召された親
切に行いに投資することができますように。イエス様の御名を通して、お祈りい
たします。アーメン。



コロラド州 デンバー / デレク・ポーター

11月25日（火）

希望にとどまる

聖書朗読 ローマ人への手紙 15：1～13

どうか、望みの神が、あなたがたを信仰によるすべての喜びと平和をもって満たし、聖霊の力によって望みにあふれさせてくださいますように。 ローマ 15：13

その1週間はなかなか壮絶でした。私の友人にとって全てが上手くいかない、そんな1週間でした。その週、彼女は仕事を失い、車が故障し、挙句の果てには、急な嵐によって家の地下が浸水したのです。「もうこれ以上は無理」と消えそうな声で彼女は言いました。

私は彼女の横に座り、励ましの声をかけようと言葉を探しました。しかし、時に希望は私たちが言葉にするものではなく、私たちの人生が崩れそうな時にも支えてくださるお方の存在を互いに思い出すことなのです。私は彼女と、神様はどのように私たちの将来を見られているのか、そして目の前が真っ暗な時でも、神様の約束に希望を見なければと話しました。

パウロは小さな希望が与えられるようにと祈ったのではなく、望みにあふれさせてくださるようにと祈りました。なぜでしょうか。それはキリストにある希望は私たちだけのものではなく、私たちからあふれ出て周りの人までも励ますものであるからです。

私の友人は神様に信頼することを選びました。少しずつ、神様は思いがけない方法を通して、必要を満たし、彼女を祝福されました。それは、他の人からの優しさによってであったり、神様だけがお与えになれる揺るぎない平安によってでした。

もしかしたら、あなたも希望など見えないと感じているかもしれません。持ちこたえましょう。神様は今働かれています。あなたが神様に信頼し続ければ、神様はあなたを喜び、平安そして想像もつかない希望で満たしてくださいます。

讃美歌 280 わが身ののぞみは

祈り 主よ、あなたは望みの神です。私たちがあなたを心から信頼し、私たちの望みがあふれ、周りの人の励ましとなりますように。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

フロリダ州 デスティン / セラ・クラーク

11月26日（水）

オリンピック選手のように走る

聖書朗読 コリント人への手紙第一 9：24～27

こういうわけで、このように多くの証人たちが、雲のように私たちを取り巻いているのですから、私たちも、いっさいの重荷とまつわりつく罪とを捨てて、私たちの前に置かれている競争を忍耐をもって走り続けようではありませんか。 ヘブル 12：1

アスリートが競技を終えた瞬間、観客の大歓声が沸き起こります。その後の表彰式では、勝者が表彰台に上り、たいいてい目に涙を浮かべながらメダルを受け取ります。古代ギリシャの大会の勝利者のように、オリーブの葉で造られた冠を受けます。これらの才能のある人たちはトレーニングに人生をささげてきました。そして今、その報いを受けているのです。

テモテⅡ 4：7で、パウロは自身の人生をふたつの競技種目に例えて、『私は勇敢に戦い、走るべき道のりを走り終え』と書きました。正確に言うと、『信仰を守り通しました。』と結んでいます。

オリンピック・シーズンになると、私はキリスト者とアスリートを比べてみたくなります。ヘブル人への手紙の著者によると、クリスチャンは多くの証人たちに雲のように取り巻かれています。歓声をあげる観客にではなく、過去の信仰のヒーローたちにです。私たちも時間をかけて努力することで、神様そして周りの人に仕える賜物を磨くことができます。そして、忍耐することによって、私たちは、オリーブ冠や金メダルのように朽ちることがない、永遠のいのちという冠を受けることができるのです。

聖歌 514 ひかりの高地に

祈り 父よ、私たちがアスリートがレースを完走する様子を見るたびに、私たちも来るべき世で勝利の冠を受けられるように、この人生というレースを走っていることを覚えることができますように。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。



アーカンソー州 クイットマン / シンシア・サザーリン

11月27日（木）

最後の食事

聖書朗読 コリント人への手紙第一 11：23～32

夕食の後、杯をも同じようにして言われました。「この杯は、わたしの血による新しい契約です。これを飲むたびに、わたしを覚えて、これを行いなさい。」

コリントⅠ 11：25

テレビでリポーターが死刑囚の話を取り上げているのを見ることがあります。リポーターは死刑囚の今までの歩みや、最後の食事に何を選んだかまで語ります。もちろん、たいいの人たちは自分の好きな食べ物を最後の食事として選択するでしょう。

イエス様が選んだ最後の食事は大変簡素なものでした。それは神様による歴史上の神の民の救済を象徴するものでした。パンと葡萄酒は身近なものでしたが、深い意味があり、過ぎ越しの祭りには欠かせないものでした。

イエス様は、最後の食事を選択するにあたって、私たちのように自分が何を食いたいではなく、ご自分の民にいかに教えを伝えようかと考えていらしたのです。イエス様は愛する人たちに真理を教えようとされたのです。イエス様は弟子たちに、パンはイエス様のからだを、そして葡萄酒はイエス様の血をあらわしていると知ってほしかったのです。そのみからだと血は十字架によって全ての人に与えられ、その大いなる愛と犠牲ゆえに、永遠のいのちが与えられるのです。

イエス様は私たちのことを、私たちがイエス様を覚えていなければならないことを考えておられました。私たちは主の食卓に与るたびに、イエス様のことを、イエス様が私たちのためにしてくださったことを思い出します。イエス様の血潮によって、私たちは兄弟姉妹とともに主の食卓につくことが許されました。主の食卓では、イエス様ご自身が食事を用意してくださるのです。

讃美歌 203 しずけくやすけき 神のみまえ

祈り 主よ、いつも主の食卓に与る前に自分を吟味できるように助けてください。いつもあなたを覚えて与れますように。イエス様の御名を通してお祈りいたします。アーメン。

ヴァージニア州 アーリントン / ユージニア・カイザー

11月28日（金）

真に新しくされるとは

聖書朗読 コリント人への手紙第二 4：6～16

しかし、主を待ち望む者は新しく力を得、驚のように翼をかって上ることができる。走ってもたゆまず、歩いても疲れない。 イザヤ 40：31

上記のイザヤ書の箇所は、バビロン捕囚下にあって弱り落ち込んでいた人々に対して、私たちは創造主であられる神によって新しく力を得ることができると励ましています。しかし、人々は将来に大きな不安を抱き、その励ましを受け入れられませんでした。そのような民の不信仰の中にあっても、預言者は創造主である神のみが失ったものを回復できるのだと主張しました。

どのような荒廃状態にあっても神様は全てを新しくされるという約束は、聖書全体を貫くテーマです。パウロも同じように励ましています。パウロは、コリントⅡ 4章において『待ち望む』という言葉は使用していませんが、苦しみを耐え忍ぶ者というのは、イザヤ40章にある『主を待ち望む者』と同じ意味です。

この2つの箇所に共通するもう一つのメッセージは『恐れるな』という教えです。（イザヤ 41：10～14）創造主である神のみが、捕囚のイスラエルの民に対して、恐れないで、神の強い御手によってなされる新生を信じるようにと命じることができるのです。そして、その驚くべき御力による新生と維持と変容は、神のみによってなされるのです。

私たちが弱い時、恐れが募る時こそ、信じて、神様の戒めに耳を傾けましょう。『恐れるな。わたしはあなたとともにいる。たじろぐな。わたしがあなたの神だから。わたしはあなたを強め、あなたを助け、わたしの義の右の手で、あなたを守る。』

讃美歌 379 見よや、十字架の旗たかし

祈り 父なる神よ、私たちを試みに会わせないで、悪からお救いください。あなたの偉大なる力を覚え、恐れが静まり、元気づけられ、あなたを賛美することができますように。イエス様の御名によってお祈りします。アーメン。



ミシガン州 ロチェスター / クレイグ・バウマン

11月29日（土）

心に満ちあふれる喜びから

聖書朗読 コリント人への手紙第二 8：1～15

苦しみゆえの激しい試練の中にあっても、彼らの満ちあふれる喜びは、その極度の貧しさにもかかわらず、あふれ出て、その惜しみなく施す富となったのです。

コリントⅡ 8：2

私には低所得のシングルマザーの知り合いが二人います。彼女らは勇敢にそして誠実に家族を守っています。彼女たちは神様に熱心にまた創造的に仕えています。周りの人たちが必要とするものを深く感じ取っています。驚くことに彼女たちは、直接的な利益を受けることも無いのに、定期的にある奨学金に寄付をしています。私の亡き夫が創設したクリスチャン学生を支える奨学金に毎月きちんと寄付してくれているのです。彼女たちの犠牲的姿には謙虚にされますし、感銘を受けます。

聖書朗読箇所にあるように、彼女たちは『まず自分自身を主にささげ』ました。これこそが秘訣です。そうすることによって、置かれている状況に関係なく、神様が彼女たちを通して働いてくださるからです。彼女たちの寛大さによって、神様のすばらしいみわががなされているのです。彼女たちは、ささやかな収入しかなくても、多くのことを教えてくれます。忠実さと寛大さにより、志のある人や偉大な神様を敬っているのです。

私たちは裕福でなくても何かを与えることができますのです。ただ、神様への豊かな愛が心に溢れていれば良いのです。

讃美歌 548 ささげまつるものはすべて

祈り 愛する主よ、あなたのみことばが、人間の限界を超えた良い行いや寛大さを生むことを感謝します。どうかあなたの御国のために用いられますように。私たちの人生をあなたの霊と仕える喜びで満たしてください。イエス様の御名によってお祈りします。アーメン。

カリフォルニア州 マリブ / スーザン K・ギボニー

11月30日（日）

比較すること

聖書朗読 コリント人への手紙第二 10：12～18

しかし、彼らが自分たちの間で自分を量ったり、比較したりしているのは、知恵のないことなのです。

コリントⅡ 10：12b

他者と自分を比較すること。神様は私たちがやりがちであることをよくご存じです。神様のみことばは私たちをそのような行動から遠ざけようとされています。聖書は、私たちが神様の恵みと力という視点で自分を見ることが出来ない時、自分に厳しくなりがちであると警告しています。

他者と自分を比較することは二つの否定的な出発点になります。一つ目は、自分より価値が低いように見える他者と自分を比較することによって優越感を得ることです。二つ目は、自分より価値のあるように見える他者と比較することで、自信を失ったり、嫌な気持ちになることです。

どちらにしてもメリットはありません。

私たちは人生のいろいろな地点での立ち位置を把握したいと思いますが、その際、神様の教えを忘れてしまいます。自分と他者とを比べたくなる誘惑を振り払って、神様との関係の中で今の自分を把握することが必要です。他者との比較によって生まれる高慢や自己否定を避けて、神様の目に自分がどう映っているのか、神様の前だけで自分の価値を見出すことが大事です。

神様が常に私たちの味方であり、助け手であるのならば、他のことは関係ないのです。あなたは神様にとって永遠に尊い存在なのですから、他の人と自分を比べることなく、自信を持って歩みましょう。

讃美歌 525 めぐみふかき主のほか

祈り 父なる神様、私を創造してくださりありがとうございます。私が他の人と自分を比べて、高慢になったり、悲観的になったりすることがないよう助けてください。イエス様の御名によってお祈りします。アーメン。

テネシー州 キングストン / Wスコット・ウッドリー